

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

敦賀市立中郷小学校

4月18日(火)に全国小学校6年生を対象にした「教科(国語・算数)に関する調査」と「質問紙調査」が実施されました。その結果から、本校児童の特徴についてお知らせします。これらの分析をもとに今後の指導改善に取り組み、「知・徳・体」の向上を目指していきますので、ご家庭でのご協力をお願いします。

【国語】○良好であった点 ●課題となる点

読むこと

【問題の内容】

相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分で考えてまとめることにした。相田さんが選んだりまとめた資料を読み、問いに答える。

【問題】

相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、番号を書きましょう。

- 1 運動の効果や資料
- 2 運動の回数や場所
- 3 運動の場所や種類
- 4 運動の効果や回数

【正解】3

○目的を意識して、中心となる語や文を見つけていくことができます。また、目的に応じて、文章の中から必要な情報を選択したり、整理したり、再構成したりすることができています。

読むこと

【問題の内容】 上に同じ

【問題】

相田さんは資料を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分でできそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。条件に合わせて書きましょう。

【正解の例】

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。

●条件を満たして作文を書くことに課題があります。

条件①資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書く。

条件②分かったことをもとに、これから自分でできそうなことを書く。

条件①で、運動と食事のどちらか片方のことしか書かれていなかった児童が多く見られました。

条件②で、条件①をもとに、できそうなことが書かれていない児童が多く見られました。

何を尋ねられているのかをしっかりと問題から読み取ることが大切です。

今後の対策

- ・複数の資料の中から、指定された条件に従って情報を読み取り、それに対する自分の考えを表現する活動に取り組みます。
- ・アップタイムの時間や普段の各教科の授業で、「○字以内で書く」「理由・根拠を述べる」「○○という言葉を使う」「自分の体験をふり返りながら書く」等、条件に沿って書く活動を取り入れます。

【算数】○良好であった点 ●課題となる点

変化と関係

(2) はるまさんたちは、いすの数と高さの関係について考えています。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A



高さはいすの数に比例しているのでしょうか。



いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が $\textcircled{7}$ きゃくから $\textcircled{1}$ きゃくと2倍になっても、高さは $\textcircled{7}$ cm から $\textcircled{1}$ cm で2倍になっていません。

上の $\textcircled{7}$ 、 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{7}$ 、 $\textcircled{1}$ にはまる数を、表の中の数から1つずつ選んで、書きましょう。

【問題の内容】

同じいすを重ねたときの、いすの数と高さの関係について考える。

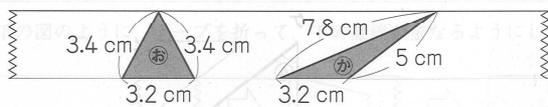
【正解の例】

いすの数が1きゃくから2きゃくと2倍になっても、高さは45cmから51cmで2倍になっていません。

○示された場面で、伴って変わる2つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求めたり、比例でないことを説明するために適切な数の組を用いたりすることができています。

図形

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【問題の内容】

高さが等しい三角形のついて、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断する。

【正解の例】

番号…3
わけ…三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求められます。㊸と㊹の底辺はどちらも3.2cmで等しいです。高さは、テープ幅がどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

●示された三角形の高さを適切に捉えることができていません。また、理由を説明できない児童も多く見られました。

今後の対策

- ・図形の面積を求める問題では、計算に必要な底辺や高さについて確認し、その求め方を説明する活動を取り入れます。また、タブレットを活用して自分の考えをまとめ、児童同士が話し合う活動に取り組みます。
- ・学習したことを教室に掲示したり、どうしたら解けそうか話し合ったりして、学力の定着につなげていきます。そして、「わかった」「できた」喜びを味わえる経験を増やしていきます。

<質問紙に関する結果から>

①

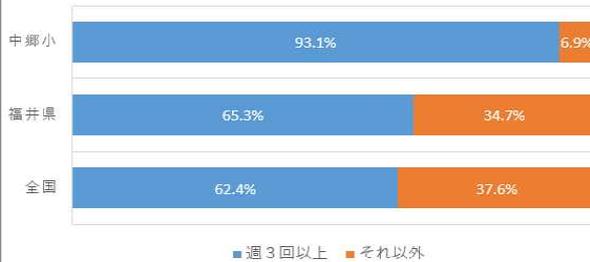
中郷小では、タブレットを効果的に活用し、児童が自分の考えを「まとめる」「伝える」「深める」ことができるよう、授業を組み立てています。タブレットを活用することで、児童は意欲的に授業に臨むことができます。特に、自分と友達のことを比べ、自分の考えをさらに深めたり、学習したことを簡単にまとめたり、分からないことはすぐ調べたりすることが可能になっています。これからも、児童が自ら発信し、互いに深め、高め合う授業を目指し、さらなる授業改善に取り組んでいきます。

②

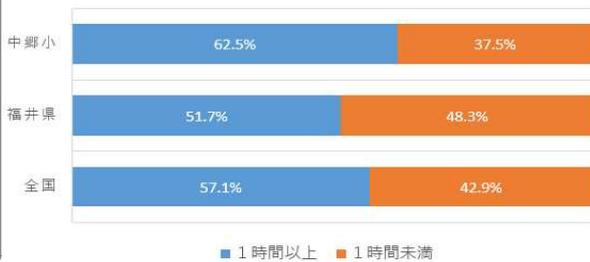
「平日読書をする」と回答した児童が、県や全国に比べてかなり少ないことがわかりました。本は「頭の栄養」であり、「心の栄養」です。読書を通して新たな知識や気づきを得たり、いろいろな生き方を学んだりすることが、心の成長につながります。学校では、週末読書の記録、朝のアップタイムの読書の時間、図書館で読書する時間などを設けたり、さまざまなジャンルの本を紹介したりして、本に親しむ環境を整えていきます。ご家庭でも、読み聞かせや親子読書等に取り組んでいただけるとありがたいです。

○良好であった点

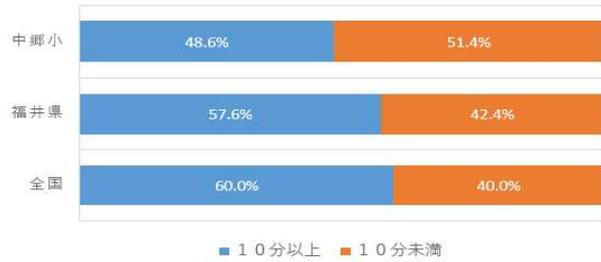
授業でのタブレットの活用頻度



家庭学習の時間



1日当たり（月曜～金曜）の読書量



地域や社会をよくするために何かしてみたい



●課題となる点

③

家庭学習に1時間以上取り組んでいる児童が、全国や県の平均と比べて多いことがわかりました。学習する習慣がしっかりとついている児童が多いと考えられます。また、家庭学習では児童の学習ペースに合わせて取り組むことができます。難しい部分をじっくりと理解したり、興味のある分野を深掘りしたりできます。今後もタブレットを用いたり、有効な自主学習の進め方を示したりするなどして、児童が自ら問題を解決し、学びを次に繋げ、広げ深める力を育てていきます。ご家庭でもご協力をお願いします。

④

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した児童が県や全国に比べてかなり少ないことがわかりました。自分たちが生活する地域や社会に目を向け、地域の一員として、興味を持ったり参加したりする場を増やしていきます。例えば、地域の方々にご協力いただき、校外学習やゲストティーチャーを交えた活動を取り入れ、児童が地域や社会の方々と触れ合う機会を増やしていきます。それらを通して、児童が地域に貢献したいとする感情を養っていきます。ご家庭でもぜひ地域の行事に参加する機会を設けてください。

今後も職員一同力を合わせ「心ゆたかでたくましい子の育成」に努めてまいります。